

倫理綱領を倫理的に使う

倫理綱領*は Anna Chesner、Jen Kristel、Veronica Needa そして私自身というチームによって作られました。2011 年に始まった認定プログラムを発展させてきたチームです。私たちは、Centre がリーダーシップコースの中で用いてきた、かなり簡素な綱領を基に、Israel Playback Theatre Network を含む類似の組織の倫理綱領を参考としました。認定プレイバックシアタートレーナーはこの綱領をしっかりと取り入れることが求められます。そして Centre は今、認定されているか否かに関わらず、私たち全員に、この綱領を実践の指針として使うよう提案しているのです。

プレイバックシアターの創始者として、綱領がどんどん広がって使われていくことを嬉しく思います。私たちは、互いに導き合う集団です。つまり、権力や支配で私たちの実践を指図するような公的機関はありません。個人やグループでの実践を倫理的に保つことを保証するのは、私たち自身なのです。

基本的には、倫理綱領は実践者やグループの実践のための指針ではありますが、私たちがコミュニティの中で倫理的実践を続けるための基盤を与えてくれると思います。こうした責任を共に背負うにあたり、知恵と優しさをもって進んでいきましょう。非難をしたり、やり返したりすることは、いとも簡単に起こります。そして、「責める」文化の代わりにアフリカ系アメリカ人の活動家である Loretta Ross が唱えた「迎え入れる」文化を創り出すことを心にとめておくことができます。たとえ尤もなことを言う時であっても、「責める」ことは残酷で非生産的になったりします。「迎え入れる」ことは、愛情と気遣いの精神で実践され、誰も辱めることがありません。

私たちの実践、相互交流を確かなものにするために、倫理綱領を使いましょう。そして私たちの仲間としての関係性はいつも安全で敬意のあるものになるでしょう。

Jo Salas

APTT

Co-founder of Playback Theatre

*この文書の初版は 2012 年 11 月に、Centre for Playback Theatre が「認定トレーナー制度」を設けるにあたって作られた。このたび、認定トレーナーだけでなく、プレイバックシアターの全ての実践者も含め、注意深く意識的な倫理的配慮を持つことを目指し、2020 年 3 月に改訂された。

プレイバックシアターの実践者、指導者として、下記の倫理綱領を守ることに同意する。

尊重:いかなるときも、観客、生徒、テラー、カンパニーメンバー、仲間を尊重して関わる。他団体のもつ品格を認め肯定し、他者を傷つけたり、辱めたりしない行動をする。プレイバックシアターのリチュアル、伝統、原理、実践が持つ意味を理解、尊重し、これらの知識修得のため精進することを約束する。

インクルージョン:どのようなストーリーでも受け入れ、加えて倫理的に複雑さを内包するストーリーをも扱える準備をしておく。コミュニティの中で普段あまり聞かれない声を内包しようと探索する。

発生:公演中のできごとは、そのとき、その場で自然発生的に起こるようにし、事前確定したり、意図的に操作したりしない。ストーリーやテラーを事前に決めておくこともない。(例外もあるが、その場合は、人々に事情を明らかにすべきである)

能力:十分なトレーニングと指導を受けてプレイバックシアターのプロジェクトに向かうことを確約し、必要な場合はさらにトレーニングを受けられるようにする。自分の能力に応じたレベルの PBT 実践や指導を行い、それを越えないようにする。

人権:その場に居る人、居ない人、全ての人権を守る。必要時には、テラーや参加者が意識的または無意識的に発した偏見に対処する適切な行動をとる。

対等な関係性:プレイバックシアターのコミュニティで、互いに尊重し、協力し、助け合う関係性を保つよう努める。カンパニー同士の距離感を大切にすると共に、透明性のある運営をする。特に、資金援助者との関係を含め、経費や専門性に大きく影響する可能性がある領域については、仲間に対して透明性を保つ。カンパニー名、広報・出版物、プロジェクトの説明など、相手が所有するものを尊重する。地理的に、カンパニー、教育機関、指導者が近接している場合は、互いに話し合い、その地域での合意を尊重する必要がある。

プライバシーと個人情報保護:公演で語られたストーリーは、守秘義務の対象でないと捉えている。とはいえ、語られたストーリーを紹介したり記述したりする場合は、敬意と思慮をもった方法で行う。

プレイバックシアター指導者のために

指導における倫理的観点:指導者として、自身と受講者のプレイバックシアターにおける倫理的事項への意識を高めることを約束する。

スーパービジョン:指導者として適切なレベルのスーパービジョンを受ける約束をする。